

# Natural Rubber Latex Allergy

天然ゴムのラテックスアレルギー

AAE ポジションステートメント

天然ゴムラテックス (NRL) は、ハベアブラジリエンスゴムの木の樹液から製造される。市販のラテックスの製造中に、いくつかの化学物質が追加される。天然ゴムに含まれるタンパク質または市販のラテックスに含まれる化学物質は、一部の人にラテックス製品に対するアレルギー反応を引き起こす可能性がある。

天然ゴムラテックスを使用すると、3種類の反応が起こる。刺激性接触皮膚炎は、ラテックス製品に対する最も一般的な反応である。これは、製造中に NRL に追加される化学物質が原因である。化学物質は皮膚を直接傷つけ、発赤、腫脹、乾燥、かゆみ、火傷をもたらす。この反応は、ラテックス手袋に追加されたパウダーからも発生する可能性がある。刺激性接触皮膚炎は真のアレルギーではなく、刺激を除去してから数時間以内に症状が消える。アレルギー性接触皮膚炎は、ラテックス製品の製造に使用される化学物質に起因する遅延型の免疫反応である。これらの化学物質は皮膚に浸透し、アレルギー反応を引き起こす。発赤や腫脹などの症状は、暴露後 24~48 時間で発生し、数日間続くことがある。この遅延型のアレルギー反応は、ラテックスに対する真のアレルギー反応の約 80% を占めている。ラテックスアレルギーは、天然ゴムラテックスに含まれるタンパク質に対する即時型アレルギー反応である。この反応は、アレルゲン (タンパク質) への曝露から数分以内に始まり、曝露が皮膚を介する場合は蕁麻疹の症状が現れ、アレルゲンを吸入すると呼吸器症状 (喘鳴、鼻水、くしゃみ) が現れる。タンパク質が血液に直接導入されると、場合によっては、アナフィラキシー反応 (顔面の腫脹、呼吸困難、血圧の大幅な低下) が発生することがある。この即時型の過敏症または NRL に対する真のアレルギー反応は、複数のアレルギーがあり、NRL 製品に頻繁にさらされる人に最もよく見られる。タンパク質が類似しているため、ラテックスにアレルギーのある人は、栗、バナナ、キウイフルーツ、アボカドなどの食品にも敏感である。患者には、この潜在的な交差抗原性を通知する必要がある。

天然ゴムラテックスに対する過敏症反応の発生率は、1980 年代後半から大幅に増加している。食品医薬品局は、この増加がラテックス手袋の使用量が 10 倍に増加したことに起因すると考えている。一般人口の約 1~6% しかラテックスにアレルギーを持たないが、医療従事者やゴム製品への曝露を伴う職業の人の有病率は約 10% である。二分脊椎の小児および青年は、出生時からラテックス製品に頻繁にさらされるため、発生率が高くなる。

天然ゴムと、根管の充填に使用される材料であるガッタパーチャとの化学的類似性の結果から、天然ゴムラテックスアレルギーの病歴を持つ患者でのガッタパーチャの使用に関する疑問が生じている。今日まで、ガッタパーチャに対するアレルギー反応と思われる報告は1つしかない。しかし、患者がガッタパーチャに対して真のアレルギー反応を示したという決定的な証拠はない。天然ゴムラテックスに対する真の即時型過敏症の患者では、根管充填を開始する前にアレルギー専門医と相談する必要がある。歯科用ガッタパーチャの内容と使用するテクニックについては、医師と話し合う必要がある。

完全な病歴と歯科歴の聴取には、ラテックスアレルギーの既往がある患者やアレルギーを起こすリスクが高い患者を特定することが含まれる。これらの患者を安全に治療するには予防策を講じる必要がある。製造業者がアレルギーを引き起こす化学物質のほとんどを除去した「低刺激性」の手袋とラバーダムは代用することができる。ただし、患者が天然ラテックスに含まれるタンパク質に対して即時型アレルギーを持つ場合は、ビニールまたはニトリルゴム製の手袋とラバーダムを使用する必要がある。さらに、空気中のラテックス粒子への暴露を最小限に抑えるために、患者をその日の最初の診療予約とすることを考慮すべきである。最も深刻な場合には、ラテックスフリーの特別な部屋が必要になる場合がある。

要望に応じて参照リストを用意する。